



子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2015年6月号)

〒144-0054 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



今年も長雨や集中豪雨など不順な天候がつづきます。
自然災害や体調管理には十分お気をつけ下さい。
人にはうとうしいだけの雨ですが、苗木には恵みです。
事務局の苗木も元気に育っています

(目次)

1. 地域での活動
2. 「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート
3. 事務局からのお知らせ
 - 新・どんぐり博士の育苗講座 (2015年6月号)
 - ～水はあげたし、根腐れはこわし～

■「J P子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J P子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営 : N P O法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 大谷保育協会

(公社) 国土緑化推進機構

N P O法人C・C・C富良野自然塾

(一社) 日本森林インストラクター協会

N P O法人自然体験活動推進協議会

N P O法人MORIMORI ネットワーク

(一社) 日本オート・キャンプ協会

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

保育環境研究所ギビングツリー



1. 地域での活動レポート

「東北復興グリーンウェイ」の活動も植樹会一段落。地元のどんぐりを育てる活動と共に、それぞれの地域での活動となります。以下、活動をレポートしていただいている参加園さんの活動風景をご紹介します。

■ 福井県「大野幼稚園」地元の森への植樹活動

・日時：2015年5月17日（日）・参加者数41名（在園児12・卒園児3・未就園児4・保護者17・職員5）

・植樹地：福井県大野市下半原「九頭竜湖」湖畔・植樹樹種：ケヤキ12・ブナ6・コナラ6・クヌギ11



地元イベント『九頭竜新緑まつり』の開催と重なりJR九頭竜湖駅周辺は、かなり混雑していました。この影響で国道158号は交通量も多く到着時刻の遅れを心配しましたが、予定通り下半原に着きました。今回は初の試みとして、バス駐車場から植樹フィールドまでの森を利用したウォークラリーを親子で体験してもらいました。

10カ所のポイント毎に目印テープを設置し、その近辺に職員が準備した人工物（トトロ・たわし・モールのゼンマイ等）を置き、それを各自の地図に書き込みながら森の中を進んで行くというものです。ルートなどは前もって職員が下見をし、オリジナルの地図を作って当日参加者に配布しました



約40分のウォークラリーを楽しみ、植樹フィールドに到着。園長の挨拶と植え方の説明を聞いた後、植樹活動開始となりました。

作業が終わって記念写真を撮影し11時半にお弁当。その後は湖畔の風を受けながら自由に散策、13時半にバス集合、出発。予定通り14時半には幼稚園に到着しました。気温の高い一日で親子共々おつかれさまでした。



2. 「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート

■ 広島県「山本まごころ保育園」苗木を見送る活動

・日時：2015年5月17日（日）・会場：自園 ・日本郵政グループ参加者：山本郵便局 堀元正治 局長
今年度は3本の苗木を東北に送ることが出来ました。山本郵便局の局長さんに「どんぐりの絆BOX」で苗木を送る意義についてお話いただきました。子どもたちは、苗木が大きく育つことを願って「♪どんぐりえがお」を歌って踊りました。



■ 広島県「春日野まごころ保育園」苗木を見送る活動

・日時：2015年5月17日（日）・会場：園庭 ・日本郵政グループ参加者：山本郵便局 堀元正治 局長
春日野まごころ保育園では天気もいので園庭で「東北の苗木を見送る会」を行いました。今回も山本郵便局の局長さんに来ていただき、箱詰めしてメッセージと共に持って帰っていただきました。苗木も結構大きく育っていますが、1本だけ折れかけているのでテープで補強しています。



3. 事務局からのお知らせ

1) 活動を持続するための活動プログラム

地域での活動、東北復興グリーンウェイブ、二つの活動に共通のプログラムをご紹介します。

子どもたちに活動における大切なことを伝えるためには、折に触れて苗木とふれ合える機会を与えてやっていただければと思います。

①苗木をお披露目する活動

地元で子どもたちが拾ったどんぐりや、昨年秋に東北から届けられたどんぐりが芽生えてくれます。そんな季節ならではの活動として「苗木のお披露目会」の実施をお奨めします。子どもたちと共に生命の芽生えを祝い、あらためてみんなで苗木を大切に育てていこうという気持ちを共有しましょう。



②植えた苗木の成長を見に行く活動

苗木は、活動に携わった子どもたちの“大きくなあれ！”という願い、そしてそんな子どもたちを見守る保護者や幼稚園・保育園の先生たちの『子どもたちと共に健やかに育て』の願いを込めて植えられ、見守られてまいりました。だから植樹した苗木の成長は、それぞれの実施園における「子どもの森づくり運動」の活動の成果であり、子どもたちの“育ち”のスケールです。そんな苗木を見に行き、その成長をみんなで確認しましょう。



③植えた苗木を見守る活動

夏本番を迎え、苗木たちも子どもたちと一緒に元気に育つ季節です。

同時に、苗木が植えられたフィールドの夏草も大きく育ち、まだ幼い苗木たちを覆い隠してしまいます。苗木を見守る活動として、有志を募り、夏草刈りを実施しましょう。その際、せっかく育った苗木を一緒に刈らないよう、十分に注意して下さい。



2) 事務局移転

事務局移転に伴い、住所、連絡先が変更となっております。ご注意願います。

* 事務局新住所：〒144-0054 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081

* メールアドレスには変更がありません。mailto:info@kodomonono-mori.net

●新・どんぐり博士の育苗講座 (2015年6月号) ～水はあげたし、根腐れはこわし～

この春に芽を出したどんぐりの苗は、葉を大きくし、さらに葉の枚数も増やしてと成長著しい時期ですね。毎日水をあげてお世話したくなりますが、季節は梅雨。水の与え過ぎも心配です。この時期の水やりの頻度について考えてみます。どんぐり博士：河内和男（森林インストラクター）



梅雨の時期を迎えました。しかし残念なことに、今年も一般的で穏やかな梅雨では無いようです。九州の南海上に前線が停滞し続け、鹿児島県を中心に九州南部では豪雨となり、災害も発生しています。被害の出ている地域の皆様にはお見舞い申し上げます。ところが反対に、6月25日現在、東北地方はまだ梅雨入りが宣言されていません。（*事務局注：東北南部は6月26日、東北北部は6月27日に梅雨入りしました。）

このように、変則的な梅雨ですが、上空の寒気による天気不安定も相まって、東北北部などの一部地域を除いては、雨の季節らしい日々ようです。そこで苗へ水を与える注意点ですが、現在梅雨入りしている地域では、日々の水やりはほとんど不要な状況です。梅雨の晴れ間が3日以上続かなければ、水が足りなくなる心配はほとんど無いと思われます。

ただ地域差が激しいので、もう少し具体的に記します。晴れ間が続いた場合、ポットやプランターの土を少し掘って、表面から2～3cmの土に少しでも湿り気が感じられたら、水を与え無くとも大丈夫です。雨の季節には、乾燥できる際には出来るだけ乾燥させた方が根腐れ防止につながります。（結構難しい判断ですが、甘やかさなくとも大丈夫な場合が多いです）

そんな訳で、水やりは子どもたちと苗が関われる貴重な機会ですが、梅雨が明けるまで、もうしばらく我慢願います。連日30度を超す真夏の天候になったら、土の表面が乾いているのを目印に、毎日でも朝か夕方にたっぷり水を与えて下さい。